

公益財団法人 PwC 財団 代表理事 安井 正樹殿
 2022 年度第 1 期環境助成事業
 助成金交付申請書

2022 年 月 日

申請団体情報

団体の名称	(フリガナ)	
	(英語)	
所在地	(フリガナ)	
	〒	
電話番号		
団体 ホームページ		
代表者	役職	氏名
		(フリガナ)
連絡責任者	役職	氏名
		(フリガナ)
	電話番号	
	E-mail	

団体の目的			
団体の 活動内容	事業の 概要	※団体全体の事業概要について記載ください	
	取り組む 社会課題 のテーマと その理由	※どのような社会課題の解決に取り組んでいるかとその理由を記載ください	
設立年度		従業員数	
直近の活動実績			
助成・受賞の実績			
※助成・受賞の実績がある場合は記載ください			
申請特許番号			
※申請中の場合も含み、記載ください			

助成申請事業情報

下記のとおり貴財団の助成金交付を申請します。

記

助成申請事業の使用に関する計画
1. 助成申請事業が該当するテーマ
※募集要項に記載の対象テーマのうち、助成申請事業が該当するテーマを選択ください
<ul style="list-style-type: none">・ テーマ 1:再生可能エネルギーや緑化・植林技術、排水処理・排ガス対策などの汚染対策技術などを用いて、健康・生命への脅威を抑え、自然の中で重要な役割を担うさまざまな生物の多様性を維持することにより、地球規模の広域な、かつ生物圏にとって重要性の高い課題である「大気・土壌・海洋の汚染や破壊」「生物多様性の損失」を解決することを目指す活動。・ テーマ 2:各種モニタリング技術、データアナリティクス、ブロックチェーン、メタバースなどの技術を活用することで、高齢化・人口減少がもたらすあらゆる課題を「都市・街」と「生活者」の観点で再定義し、新しい時代の「安心・安全に生活できる場」を再構築することを目指す活動。
テーマ 1 を選択した場合のみ回答
※募集要項に記載の対象活動(技術・取り組み)のうち、助成申請事業が該当する活動を選択ください(複数選択可)
<ol style="list-style-type: none">1. 汚染対策:技術・コスト面で効率的な検出・測定・評価技術、排水・排ガス技術、改善技術により健康・生命への脅威を短期・中長期的に抑止する活動2. 気候変動抑制:新しい省エネ・再エネ・車両・輸送等の関連技術により、よりクリーンで効率的・効果的に「汚染しない仕組み」を創出する活動3. 生態系保全:監視・保全技術や緑化・植林技術などを活用して、動植物・水産・森林資源の増加、温暖化防止、観光資源化などの新しい価値を創出する活動
テーマ 2 を選択した場合のみ回答
※募集要項に記載の対象活動(技術・取り組み)のうち、助成申請事業が該当する活動を選択ください(複数選択可)
<ol style="list-style-type: none">1. 社会インフラの再構築:同時期に老朽化していく物理的な社会インフラ(橋梁・道路・上水道・工業用水道・公益目的の建造物など)の効率的な再構築に資する技術や活動2. 都市荒廃の防止:パンデミックに伴うインフラサービス機能の停止や空き家増加などにより想定される都市荒廃を防犯・衛生・景観などの観点から抑止・防止するための技術や活動3. あらゆる人の QoL 向上:世代(高齢者、Z 世代など)や文化的・社会的な背景を超えて、あらゆる人が自分らしく生きることを実現する「都市」「街」づくりに寄与する技術や活動

2. 助成申請事業名
3. 助成申請事業で取り組む社会課題のテーマとその理由
※募集要項を踏まえ、どの様な社会課題の解決に取り組んでいるかとその理由を記載ください
4. 助成申請事業の目的
※団体の事業全体ではなく、当該事業の目的について記載ください
5. 助成申請事業のビジネスモデル、実施体制、スケジュール
※5-1 当該事業のビジネスモデルが分かるように記載ください
※5-2 当該事業の実施体制が分かるように記載ください
※5-3 当該事業のスケジュールが分かるように記載ください

6. 実現したい世界

※1. 当該事業期間内だけでなく、3年後、5年後までイメージして、どのようなインパクトをどう創出していくの分かるように記載ください

※2. どのようにテクノロジーを用いて課題を解決するのか、実現内容と方法が分かるように記載ください

7. 事業全体の計画・現在の進捗・助成申請事業の対象

※1. 当該事業における現在の進捗と各ステージへの到達時期について回答例を参考に記載ください

※2. 回答例記載の事業ステージ自体が実態に即さない場合は、その点も含めて記載ください

※3. 当該事業に該当する事業ステージを選択してください

<回答例>

事業のステージ(例)	現在の進捗	助成事業の対象
①必要な製品(機器、システム)の開発が実験室レベルで検証済	✓	
① 必要な製品(機器、システム)やサービスを実地で実証実験済	✓	✓
② 一部地域での製品やサービスの実装や利用を進めつつ、他の地域への展開に向けた準備を進めている		✓
③ 全国・世界的利用に向けた準備が進み、複数地域で製品やサービスの利用による効果が実感されている		

8. 事業の継続性(ステージ①関連)

※事業モデルについて、対象となる自治体や企業のニーズ、当該ニーズへのアプローチ方法や競争に対する優位性などを踏まえて記載ください

9. 社会的普及の実現性(ステージ②関連)

※社会全体(公共サービス、民間企業向けサービス)に展開する上でのハードルと、当該ハードルを乗り越える方法/計画について記載ください

10. 助成申請事業の短期的成果

※当該事業によって1年後に見込まれる成果を記載ください

11. 長期的なインパクト(ステージ③関連)

※今後3-5年間で見込まれる自治体/企業の利用数や社会性・事業性双方のインパクトを記載ください

